
業績ハイライト

－ 2021年3月期第2四半期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2021年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2020年9月期		増減率	2019年9月期	2020年3月期 (参考)
	2020年9月期	前年同期比			
連結経常収益	21,329	1,637	8.3	19,692	42,354
経常利益	1,419	470	49.6	948	2,571
親会社株主に帰属する中間純利益	64	△ 647	△ 90.9	711	1,733

- じもとホールディングスの連結経常収益は213億29百万円、経常利益は14億19百万円となりましたが、きらやか銀行における繰延税金資産の取崩しに伴い、法人税等調整額を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比6億47百万円減少し、64百万円となりました。

② 2行合算

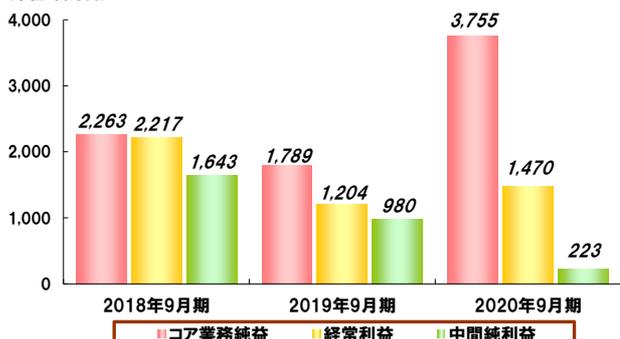
(単位:百万円、%)

	2020年9月期		増減率	2019年9月期	2020年3月期 (参考)
	2020年9月期	前年同期比			
経常収益	18,744	1,409	8.1	17,334	37,095
業務粗利益	14,051	202	1.4	13,849	28,236
資金利益	14,430	1,449	11.1	12,980	25,897
役務取引等利益	793	7	0.9	786	1,737
その他業務利益	△ 1,172	△ 1,254	-	81	601
うち国債等債券損益	△ 1,263	△ 1,294	-	31	△ 528
経費(除く臨時処理分)	11,558	△ 469	△ 3.9	12,028	23,914
うち人件費	5,826	△ 177	△ 2.9	6,004	11,827
うち物件費	4,806	△ 349	△ 6.7	5,155	10,283
実質業務純益(注1)	2,492	672	36.9	1,820	4,321
コア業務純益(注2)	3,755	1,966	109.9	1,789	4,850
除く投資信託解約損益	2,291	1,113	94.5	1,178	3,810
一般貸倒引当金繰入額	1,048	898	-	149	983
業務純益	1,444	△ 226	△ 13.5	1,670	3,338
臨時損益	25	492	-	△ 466	△ 475
うち不良債権処理額	△ 40	△ 470	-	430	589
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 182	△ 362	-	180	△ 436
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 147	-	147	-
うち株式等関係損益	12	62	-	△ 49	△ 156
経常利益	1,470	265	22.0	1,204	2,863
特別損益	2	171	-	△ 168	△ 343
法人税等合計(△)	1,249	1,194	-	55	596
うち法人税等調整額(△)	1,016	1,028	-	△ 11	260
中間純利益	223	△ 757	△ 77.2	980	1,923
与信関係費用	923	529	134.4	393	1,534

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比14億9百万円増加の187億44百万円(増減率8.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経常収益の増加に加え、経費が減少したことなどから、前年同期比19億66百万円増加の37億55百万円(増減率109.9%)となりました。
- 経常利益は前年同期比2億65百万円増加の14億70百万円、中間純利益は前年同期比7億57百万円減少の2億23百万円となりました。

1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

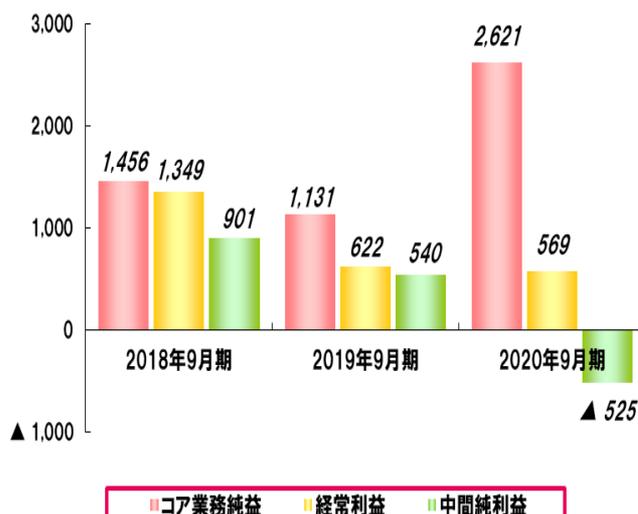
(単位:百万円、%)

	2020年9月期			2019年9月期	2020年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	10,541	758	7.7	9,782	20,732
業務粗利益	7,778	△ 262	△ 3.2	8,040	16,919
資金利益	8,389	1,148	15.8	7,241	14,487
うち貸出金利息	6,227	74	1.2	6,152	12,346
うち有価証券利息配当金	2,227	1,053	89.8	1,173	2,278
役務取引等利益	579	△ 69	△ 10.6	649	1,379
その他業務利益	△ 1,191	△ 1,341	-	150	1,052
うち国債等債券損益	△ 1,262	△ 1,362	-	100	△ 60
経費(除く臨時処理分)	6,419	△ 389	△ 5.7	6,808	13,518
うち人件費	3,181	△ 148	△ 4.4	3,329	6,575
うち物件費	2,738	△ 269	△ 8.9	3,007	5,981
実質業務純益(注1)	1,358	127	10.3	1,231	3,400
コア業務純益(※注2)	2,621	1,489	131.6	1,131	3,461
(除く投資信託解約損益)	1,169	211	22.0	958	3,063
①一般貸倒引当金繰入額	343	193	129.2	149	293
業務純益	1,015	△ 66	△ 6.1	1,082	3,107
臨時損益	△ 446	13	-	△ 459	△ 1,428
②うち不良債権処理額	375	96	34.6	279	868
うち個別貸倒引当金繰入額	329	149	82.6	180	250
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-	-
うち株式等関係損益	14	63	-	△ 49	△ 480
経常利益	569	△ 53	△ 8.5	622	1,678
特別損益	△ 0	37	-	△ 37	△ 30
法人税等合計(△)	1,094	1,050	-	44	544
うち法人税等調整額(△)	1,003	974	-	29	343
中間純利益	△ 525	△ 1,066	△ 197.2	540	1,103
与信関係費用	718	327	83.8	390	1,124

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が増加したことなどから、前年同期比7億58百万円増加の105億41百万円(増減率7.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことに加えて、経費が前年同期比で3億89百万円減少したことなどから、前年同期比14億89百万円増加の26億21百万円(増減率131.6%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額や不良債権処理額が増加したことから、前年同期比3億27百万円増加の7億18百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比53百万円減少の5億69百万円となりましたが、繰延税金資産の取崩しに伴って法人税等調整額を10億3百万円計上した結果、中間純利益は前年同期比10億66百万円減少し、5億25百万円の赤字となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

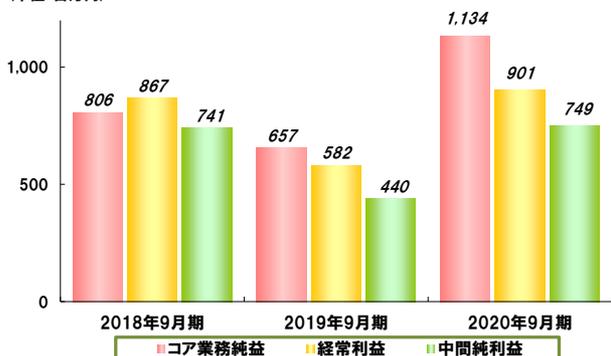
(単位:百万円、%)

	2020年9月期			2019年9月期	2020年3月期 (参考)
		前年同期比	増減率		
経常収益	8,202	651	8.6	7,551	16,362
業務粗利益	6,273	464	8.0	5,808	11,316
資金利益	6,040	301	5.2	5,739	11,409
うち貸出金利息	4,904	239	5.1	4,665	9,473
うち有価証券利息配当金	1,181	53	4.7	1,128	2,042
役務取引等利益	214	76	55.3	137	358
その他業務利益	18	86	-	△ 68	△ 451
うち国債等債券損益	△ 1	68	-	△ 69	△ 467
経費(除く臨時処理分)	5,139	△ 80	△ 1.5	5,219	10,395
うち人件費	2,644	△ 29	△ 1.1	2,674	5,252
うち物件費	2,068	△ 79	△ 3.7	2,148	4,302
実質業務純益(注1)	1,133	544	92.5	588	921
コア業務純益(注2)	1,134	476	72.4	657	1,389
(除く投資信託解約損益)	1,122	902	410.2	220	746
①一般貸倒引当金繰入額	704	704	-	-	689
業務純益	428	△ 160	△ 27.1	588	231
臨時損益	472	478	-	△ 6	952
②うち不良債権処理額	△ 416	△ 567	-	151	△ 279
うち個別貸倒引当金繰入額	△ 512	△ 512	-	-	△ 687
(貸倒償却引当費用①+②)	288	137	90.9	151	410
うち貸倒引当金戻入益	-	△ 147	-	147	-
うち株式等関係損益	△ 1	△ 1	-	△ 0	324
経常利益	901	318	54.7	582	1,184
特別損益	3	134	-	△ 130	△ 312
法人税等合計(△)	155	143	-	11	52
うち法人税等調整額(△)	13	53	-	△ 40	△ 82
中間純利益	749	308	70.1	440	819
与信関係費用	204	201	-	3	410

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、貸出金利息を中心に資金運用収益が増加したことなどから、前年同期比6億51百万円増加の82億2百万円(増減率8.6%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息の増加等により資金利益が増加したことに加え、経費が減少したことなどから、前年同期比4億76百万円増加の11億34百万円(増減率72.4%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比2億1百万円増加の2億4百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比3億18百万円増加の9億1百万円、中間純利益は前年同期比3億8百万円増加の7億49百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



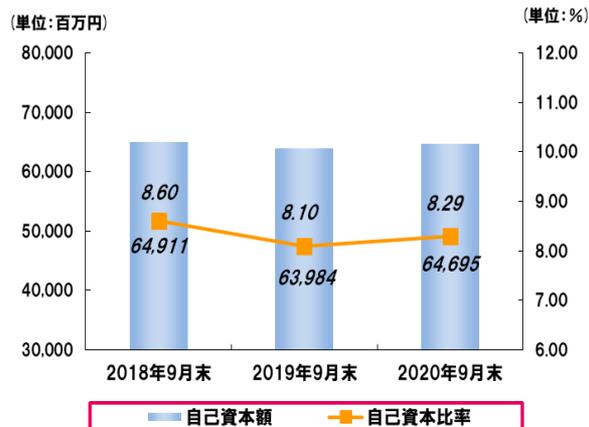
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.29%となりました。

(単位: %)

	2020年 9月末	2019年 9月末比	増減率	2019年 9月末
連結自己資本比率	8.29	0.05	0.60	8.24

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



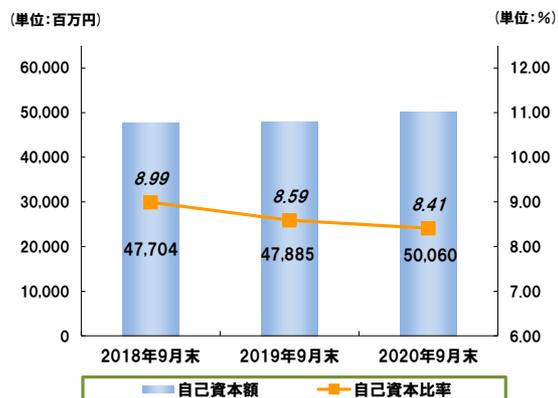
- 単体の自己資本比率は、リスクアセット(分母)が減少したことなどから、2019年9月末比0.19ポイント上昇し8.29%となりました。

(単位: %)

	2020年 9月末	2019年 9月末比	増減率	2019年 9月末
自己資本比率[単体]	8.29	0.19	2.34	8.10
自己資本比率[連結]	8.15	0.18	2.25	7.97

③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



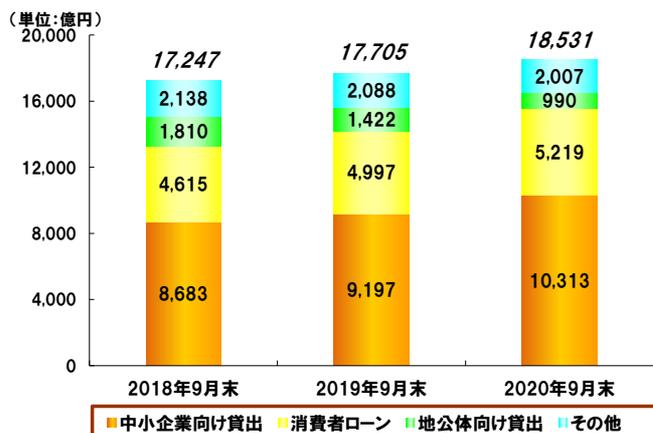
- 単体の自己資本比率は、中間純利益を7億49百万円計上したことなどにより自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加などに伴いリスクアセット(分母)が増加したことから、2019年9月末比0.18ポイント低下の8.41%となりました。

(単位: %)

	2020年 9月末	2019年 9月末比	増減率	2019年 9月末
自己資本比率[単体]	8.41	△ 0.18	△ 2.09	8.59
自己資本比率[連結]	8.42	-	-	-

3. 貸出金の状況

① 2行合算

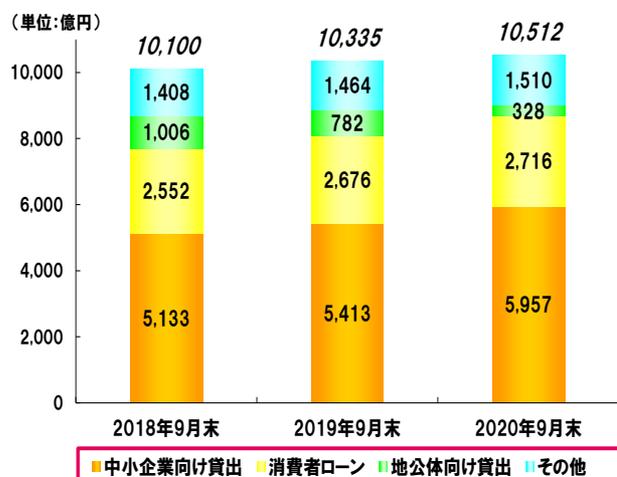


- 2行合算の貸出金残高は、2019年9月末比825億29百万円増加の1兆8,531億11百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
貸出金(末残)	1,853,111	82,529	4.6	1,770,582
うち中小企業向け貸出残高	1,031,375	111,651	12.1	919,723
うち消費者ローン	521,940	22,164	4.4	499,775
うち住宅ローン	479,189	23,378	5.1	455,811
うち地方公共団体向け貸出	99,053	△ 43,224	△ 30.3	142,277

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことなどから、2019年9月末比176億96百万円増加の1兆512億89百万円となりました。

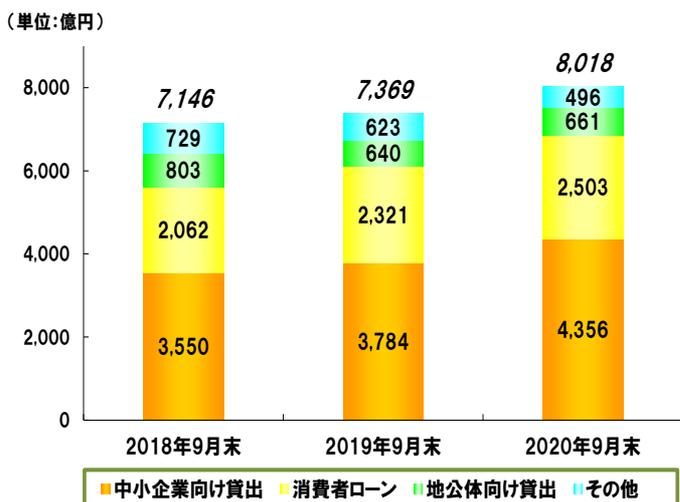
- 中小企業向け貸出は、本業支援や新型コロナウイルス関連の資金需要に対応したことなどから、2019年9月末比543億93百万円増加の5,957億11百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2019年9月末比39億58百万円増加の2,716億7百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
貸出金(末残)	1,051,289	17,696	1.7	1,033,593
うち中小企業向け貸出残高	595,711	54,393	10.0	541,318
うち消費者ローン	271,607	3,958	1.4	267,649
うち住宅ローン	255,009	4,650	1.8	250,359
うち地方公共団体向け貸出	32,875	△ 45,334	△ 57.9	78,209

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、2019年9月末比648億32百万円増加の8,018億21百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要へ積極的に対応したことなどから、2019年9月末比572億58百万円増加の4,356億64百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2019年9月末比182億6百万円増加の2,503億33百万円となりました。

- 地方公共団体向け貸出は、2019年9月末比21億9百万円増加の661億78百万円となりました。

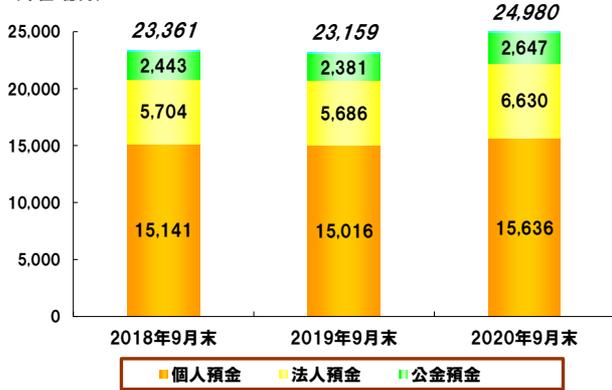
(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
貸出金(末残)	801,821	64,832	8.7	736,988
うち中小企業向け貸出残高	435,664	57,258	15.1	378,405
うち消費者ローン	250,333	18,206	7.8	232,126
うち住宅ローン	224,179	18,727	9.1	205,452
うち地方公共団体向け貸出	66,178	2,109	3.2	64,068

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

(単位:億円)



- 2行合算の預金残高は、2019年9月末比1,821億3百万円増加の2兆4,980億51百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,498,051	182,103	7.8	2,315,948
うち個人預金	1,563,676	62,010	4.1	1,501,665
うち法人預金	663,011	94,375	16.5	568,636
うち公金預金	264,701	26,543	11.1	238,158

② きらやか銀行

(単位:億円)



- 預金残高は、2019年9月末比414億80百万円増加の1兆3,021億52百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したことなどから、2019年9月末比245億59百万円増加の8,731億97百万円となりました。
- 法人預金は、新型コロナウイルスの影響により手元資金を確保する動きが見られたことなどから、2019年9月末比436億43百万円増加の3,766億51百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,302,152	41,480	3.2	1,260,672
うち個人預金	873,197	24,559	2.8	848,637
うち法人預金	376,651	43,643	13.1	333,007
うち公金預金	48,962	△ 26,513	△ 35.1	75,476

③ 仙台銀行

(単位:億円)



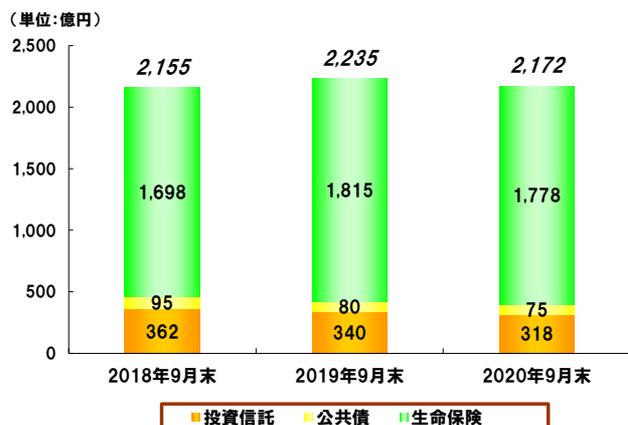
- 預金残高は、新型コロナウイルス感染症による特別定額給付金や融資金の歩留まり等により、2019年9月末比1,406億22百万円増加の1兆1,958億99百万円となりました。
- 個人預金は、2019年9月末比374億50百万円増加の6,904億78百万円となりました。
- 法人預金は、2019年9月末比507億31百万円増加の2,863億60百万円となりました。
- 公金預金は、2019年9月末比530億56百万円増加の2,157億38百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,195,899	140,622	13.3	1,055,276
うち個人預金	690,478	37,450	5.7	653,027
うち法人預金	286,360	50,731	21.5	235,628
うち公金預金	215,738	53,056	32.6	162,681

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

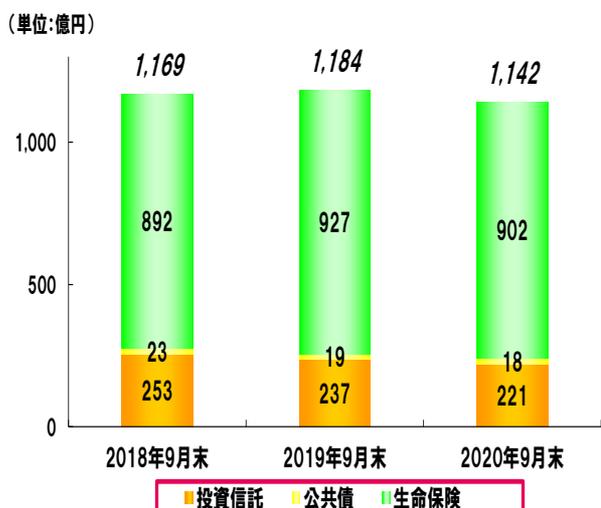


- 2行合算の預かり資産残高は、2019年9月末比63億33百万円減少の2,172億62百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預かり資産(末残)	217,262	△ 6,333	△ 2.8	223,596
うち投資信託	31,862	△ 2,144	△ 6.3	34,007
うち公共債(国債等)	7,505	△ 521	△ 6.4	8,027
うち生命保険	177,894	△ 3,667	△ 2.0	181,561

② きらやか銀行



- 預かり資産残高は、新型コロナウイルスの影響等によりお客様の運用ニーズが弱まったことなどから、2019年9月末比42億47百万円減少の1,142億6百万円となりました。
- 投資信託は、2019年9月末比16億28百万円減少の221億26百万円となりました。
- 公共債は、2019年9月末比1億50百万円減少の18億6百万円となりました。
- 生命保険は、2019年9月末比24億69百万円減少の902億72百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預かり資産(末残)	114,206	△ 4,247	△ 3.5	118,454
うち投資信託	22,126	△ 1,628	△ 6.8	23,755
うち公共債(国債等)	1,806	△ 150	△ 7.6	1,957
うち生命保険	90,272	△ 2,469	△ 2.6	92,741

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2019年9月末比20億85百万円減少の1,030億56百万円となりました。
- 投資信託は、2019年9月末比5億15百万円減少の97億35百万円となりました。
- 公共債は、2019年9月末比3億71百万円減少の56億99百万円となりました。
- 生命保険は、2019年9月末比11億98百万円減少の876億21百万円となりました。

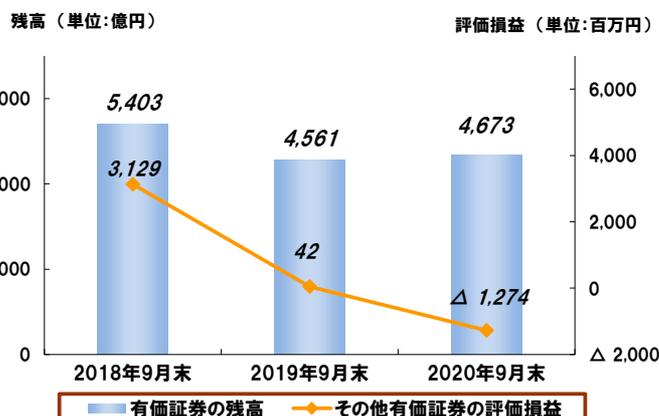
(単位: 百万円, %)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
預かり資産(末残)	103,056	△ 2,085	△ 1.9	105,142
うち投資信託	9,735	△ 515	△ 5.0	10,251
うち公共債(国債等)	5,699	△ 371	△ 6.1	6,070
うち生命保険	87,621	△ 1,198	△ 1.3	88,820

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2019年9月末比112億11百万円増加の4,673億58百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2019年9月末比13億16百万円減少し、12億74百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
有 価 証 券	467,358	11,211	2.4	456,147
国 債	19,579	△ 63,800	△ 76.5	83,380
地 方 債	40,393	△ 34,034	△ 45.7	74,427
社 債	86,374	△ 55,937	△ 39.3	142,312
株 式	9,127	△ 2,035	△ 18.2	11,162
そ の 他 証 券	311,883	167,018	115.2	144,864

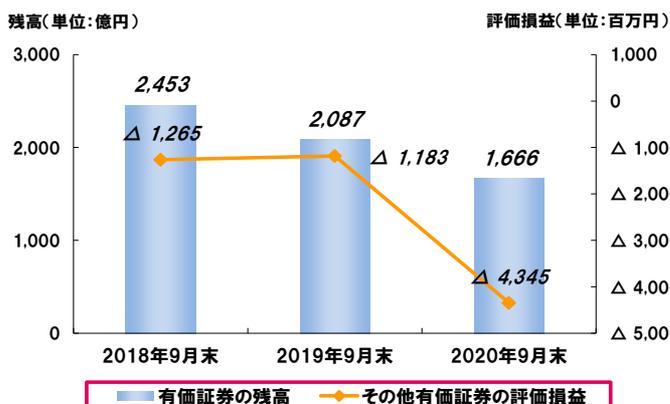
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 1,274	△ 1,316	42
株 式	59	△ 473	533
債 券	104	△ 2,534	2,639
そ の 他	△ 1,438	1,692	△ 3,130

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、保有債券の償還及び運用ポートフォリオの見直しを実施したことなどから、2019年9月末比421億10百万円減少の1,666億23百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、新型コロナウイルスに伴う市況の変化により投資信託の評価益が減少したことなどから、2019年9月末比31億62百万円減少し、43億45百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
有 価 証 券	166,623	△ 42,110	△ 20.1	208,734
国 債	17,545	△ 22,140	△ 55.7	39,686
地 方 債	8,624	△ 821	△ 8.6	9,445
社 債	52,451	1,501	2.9	50,950
株 式	7,908	△ 206	△ 2.5	8,115
そ の 他 証 券	80,093	△ 20,443	△ 20.3	100,536

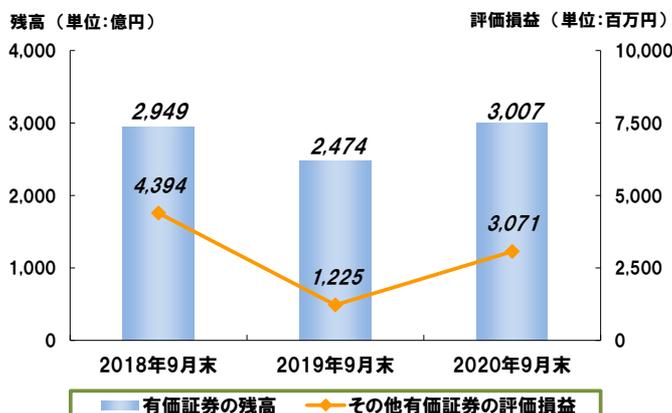
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 4,345	△ 3,162	△ 1,183
株 式	9	280	△ 270
債 券	158	△ 979	1,138
そ の 他	△ 4,514	△ 2,462	△ 2,051

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえ、ポートフォリオの見直しを実施したことにより、2019年9月末比533億21百万円増加の3,007億34百万円となりました。
- 上記見直しの結果、投資信託の評価益を主因として、その他有価証券の評価損益は2019年9月末比18億45百万円改善し、30億71百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	2020年9月末	2019年9月末比	増減率	2019年9月末
有 価 証 券	300,734	53,321	21.5	247,412
国 債	2,034	△ 41,659	△ 95.3	43,694
地 方 債	31,769	△ 33,212	△ 51.1	64,981
社 債	33,923	△ 57,438	△ 62.8	91,361
株 式	1,218	△ 1,829	△ 60.0	3,047
そ の 他 証 券	231,789	187,462	422.8	44,327

②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

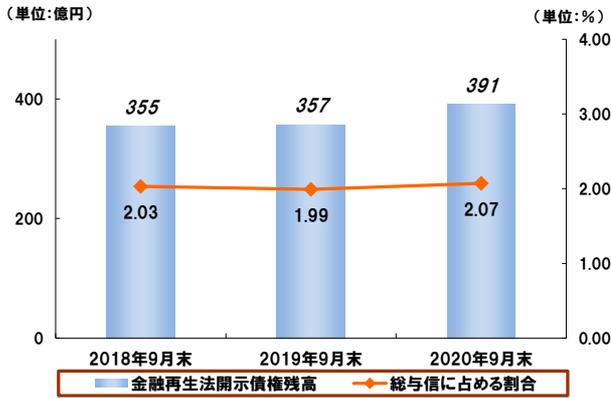
	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
そ の 他 有 価 証 券	3,071	1,845	1,225
株 式	49	△ 754	803
債 券	△ 54	△ 1,554	1,500
そ の 他	3,075	4,154	△ 1,078

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年9月末比33億31百万円増加の391億9百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年9月末比0.08ポイント上昇し、2.07%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

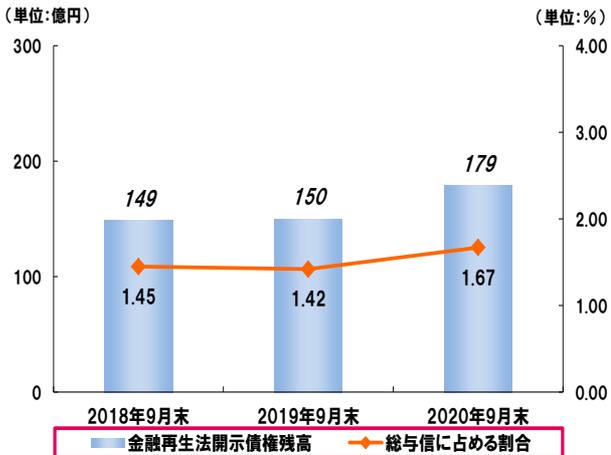
	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,553	△ 702	4,256
危険債権	30,030	2,759	27,270
要管理債権	5,525	1,274	4,250
合計 (A)	39,109	3,331	35,777
正常債権	1,843,519	85,531	1,757,987
総与信額 (B)	1,882,628	88,862	1,793,765
(A / B)	2.07	0.08	1.99

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,553	3,553	2,871	682	100.00
危険債権	30,030	25,327	22,031	3,296	84.33
要管理債権	5,525	2,001	1,730	270	36.21
合計	39,109	30,882	26,633	4,249	78.96

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年9月末比29億28百万円増加の179億63百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年9月末比0.25ポイント上昇し1.67%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

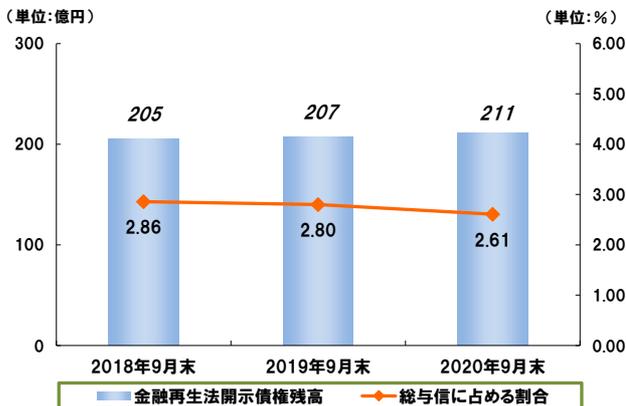
	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,453	103	2,349
危険債権	12,732	2,835	9,897
要管理債権	2,777	△ 10	2,787
合計 (A)	17,963	2,928	15,034
正常債権	1,056,432	17,154	1,039,278
総与信額 (B)	1,074,396	20,083	1,054,312
(A / B)	1.67	0.25	1.42

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,453	2,453	2,030	422	100.00
危険債権	12,732	8,781	8,068	712	68.96
要管理債権	2,777	516	261	254	18.59
合計	17,963	11,750	10,360	1,390	65.41

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2019年9月末比4億2百万円増加の211億45百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2019年9月末比0.19ポイント低下の2.61%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

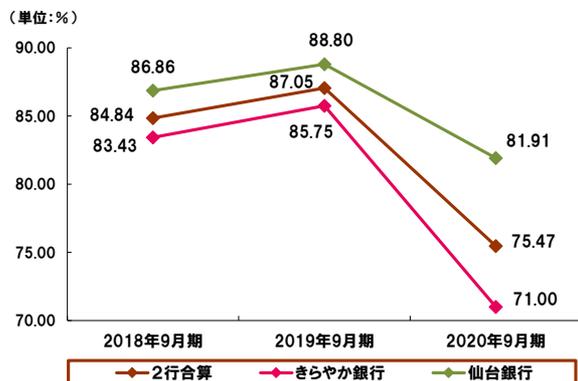
	2020年9月末	2019年9月末比	2019年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,100	△ 805	1,906
危険債権	17,297	△ 76	17,373
要管理債権	2,747	1,285	1,462
合計 (A)	21,145	402	20,743
正常債権	787,086	68,376	718,709
総与信額 (B)	808,232	68,779	739,452
(A / B)	2.61	△ 0.19	2.80

②金融再生法開示債権の保全状況(2020年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,100	1,100	840	259	100.00
危険債権	17,297	16,546	13,962	2,583	95.65
要管理債権	2,747	1,484	1,468	16	54.03
合計	21,145	19,131	16,272	2,859	90.47

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2019年9月期比11.58ポイント低下し、75.47%となりました。



(単位: %)

		2020年9月期	2019年9月期比	2019年9月期
		コアOHR	75.47	△ 11.58
	きらやか銀行	71.00	△ 14.75	85.75
	仙台銀行	81.91	△ 6.89	88.80

9. 2021年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2021年3月期通期の連結業績予想は、経常利益△15億円、親会社株主に帰属する当期純利益△30億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2021年3月期の中間配当金は、1株あたり1円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、通期業績予想を踏まえ、1株あたり10円（株式併合を考慮しない場合の1株あたり配当金は1円）を予定しております。

(単位: 百万円)

	2021年3月期	(参考) 2020年3月期
経常利益	△ 1,500	2,571
親会社株主に 帰属する当期純利益	△ 3,000	1,733

基準日	中間	期末	年間
(参考) 2020年3月期	2円50銭	1円50銭	4円00銭
2021年3月期	1円50銭		-
(予想) 2021年3月期	-	10円00銭	-

※当社は、2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っており、年間配当合計は、単純合算ができないため、「-」と表示しております。

株式併合を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の1株あたり期末配当金は1円00銭となり、1株あたり年間配当金は2円50銭となります。

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益△32億円、当期純利益△42億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益14億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位: 百万円)

	2021年3月期	(参考) 2020年3月期
経常利益	△ 3,200	1,678
当期純利益	△ 4,200	1,103

仙台銀行

(単位: 百万円)

	2021年3月期	(参考) 2020年3月期
経常利益	1,600	1,184
当期純利益	1,400	819